

令和7年度

しがの学びの保障・居場所の確保推進協議会

～子どもたちの育ちと学びをつなぐ～  
幼保小接続の推進について

滋賀県幼児期教育センター

令和7年12月24日(水)





# I. 幼児期教育センターについて



## ■ 令和6年4月開設

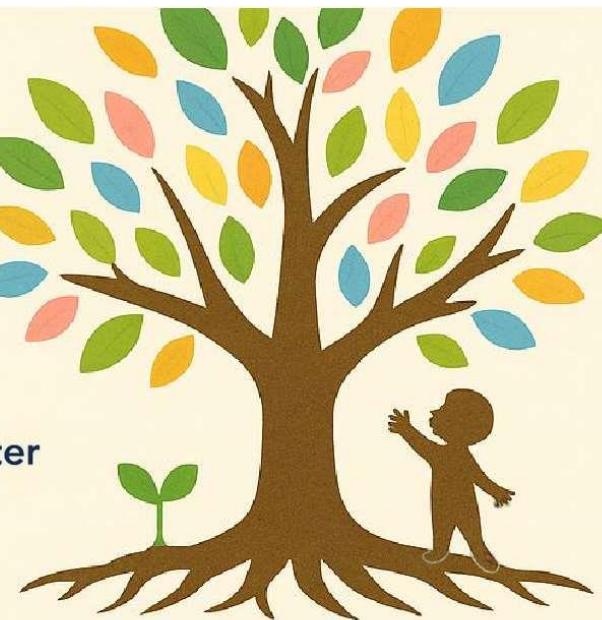
- 幼児教育の質の向上を図る
- 幼保小接続のさらなる充実を目指す

滋賀県  
幼児期教育センター

Shiga Early Childhood Education Center

心を動かし、自ら考え、夢中になって遊び込む子ども

～子どもをまんなかに、生きる力のねっこを育む～





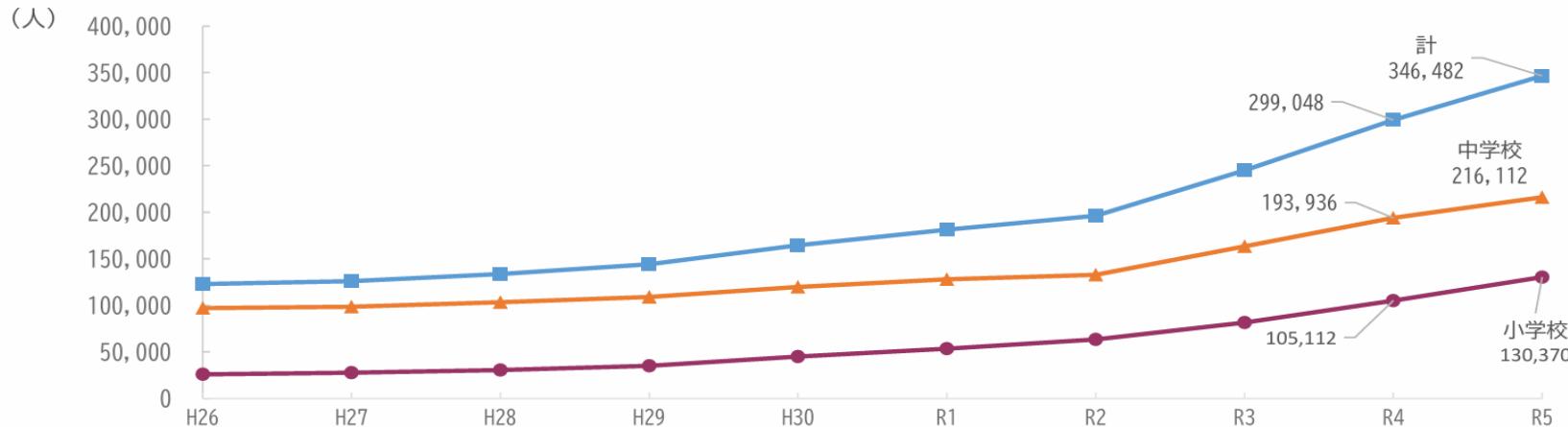
## 2-I.不登校の状況



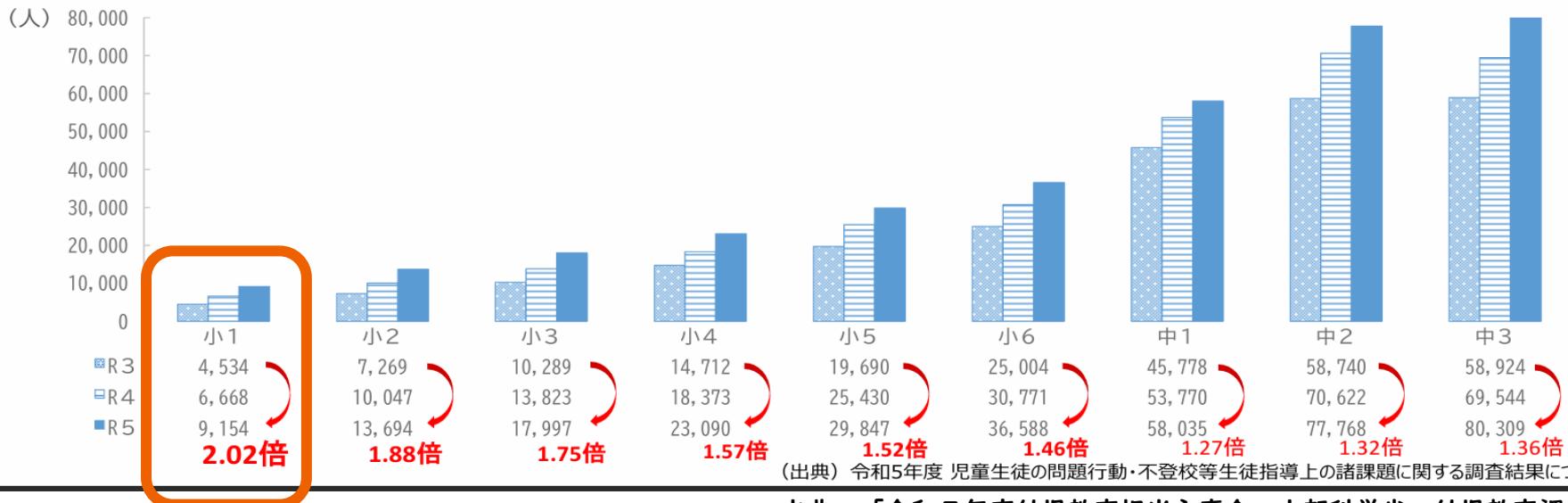
### 不登校の状況について

- ・小・中学校における不登校児童生徒数は約34万6千人(過去最多)
- ・全学年で前年度と比較して増加しているが、近年、小学校低学年の増加率が大きくなっている。

小・中学校それぞれの不登校児童生徒数の推移



学年別不登校児童生徒数





## 2-2.不登校の状況



### ■ 小学校入学前後の子どもたちが感じやすい不安

- ・知らない場所（教室、校庭、トイレ）
- ・知らない人（先生、上級生）
- ・小学校での生活リズムやルールへの適応  
(授業時間、給食、座席の決まり、チャイム)
- ・友だちができるかという社会的な不安
- ・学びに対する不安  
(文字や数字がわからない、授業についていけるか)

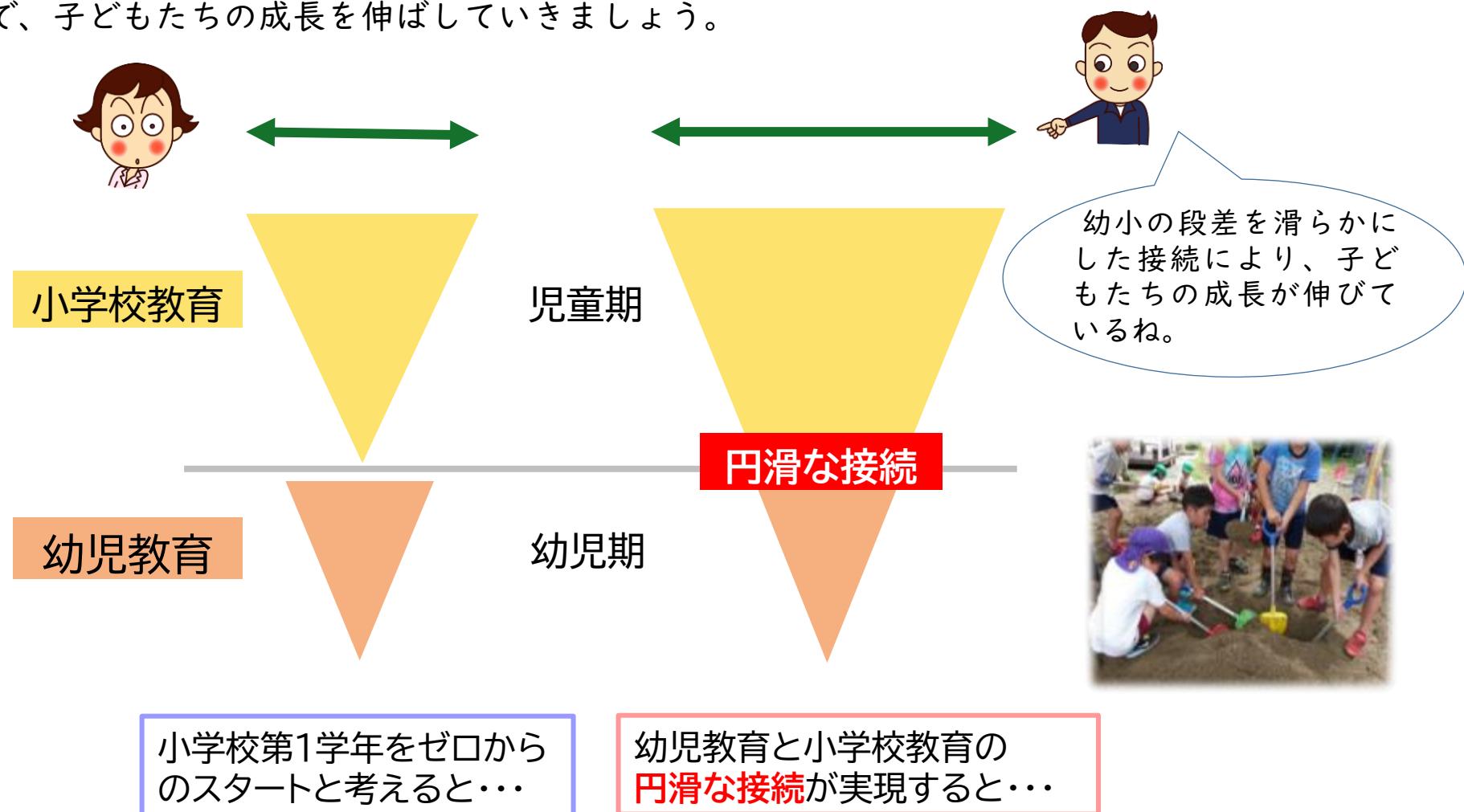


# 3-1. 幼児教育と小学校教育をつなぐ



## 1年生はゼロからのスタートではない！

小学校に入学する児童は、幼稚園・保育所・認定こども園・家庭・地域などの様々な体験を通して学んできています。小学校教育を幼児教育からの延長と考え、つなぐことで、子どもたちの成長を伸ばしていきましょう。





## 3-2. 幼児教育と小学校教育をつなぐ



### ■ 幼児教育と小学校教育の特徴とは…



#### 幼児教育 (幼稚園・保育所・認定こども園)

教育の目標

「感じる」「気付く」「考える」「工夫する」「興味をもつ」「関わる」等の経験を重視

教育の方法等

遊びを通した総合的な指導

幼稚園教育  
要領等

5つの領域からなる「ねらい」と「内容」  
(健康・人間関係・環境・言葉・表現)



#### 小学校教育

教育の目標

「～できるようになる」「分かるようになる」等の目標への到達度を重視

教育の方法等

各教科等の目標・内容に沿って選択された教材による授業

小学校  
学習指導要領

各教科等における目標及び内容

(国語科・社会科・算数科・理科・生活科・音楽科・図画工作科・家庭科・体育科・外国語科・道徳科・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動)

#### 幼児教育

10の姿を念頭に置きながら、小学校以降の生活や学習の基盤となる資質・能力を育成する

#### 共通 幼児教育と小学校教育

#### 小学校教育

10の姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼児期に育まれた資質・能力を踏まえて、教育活動を実施する

教育課程等

一人一人の資質・能力を育んでいくよう教育の内容等を組織的かつ計画的に編成

教育方法

「主体的・対話的で深い学び」の実現



## 3-3. 幼児教育と小学校教育をつなぐ



### 「かけ橋期」の教育・保育をつなぐ

「かけ橋期」の  
教育・保育を  
つなぐ

5歳児から小学校第1学年の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期です。この時期を「かけ橋期」と言います。

この「かけ橋期」では、幼稚園、認定こども園、保育所、小学校と多様な施設がそれぞれの役割を担っています。施設類型の違いを越えて連携することが大切です。

そのために、5歳児から小学校第1学年の2年間を見通した「かけ橋期のカリキュラム」を作成しましょう。

それまでの経験を生かしながら新たな課題を見出し、新しい方法を考えたり試したりして実現しようとしていく時期。

自分の好きなことや得意なことがわかってくる中で、1年生以降の学びや生活へと発展していく力を身に付ける時期。





## 3-4. 幼児教育と小学校教育をつなぐ



### 「架け橋期」の教育・保育をつなぐカリキュラム

#### 「アプローチカリキュラム」

各幼児教育において、小学校の先取りの教育ではなく、小学校以降の教育を見通しながら、その基盤となる資質・能力を育成していくことを踏まえて教育活動を実施するためのプログラム。

#### 「スタートカリキュラム」

小学校へ入学した子どもが、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通した学びと育ちを基盤として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を作り出していくためのカリキュラム。

3歳児

4歳児

5歳児

1年生

2年生

架け橋期

#### 「架け橋期のカリキュラム」

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて、園と小学校が共通の視点をもちながら、互いの保育・教育内容や方法の充実を図るために協働して策定するカリキュラム。

小学校教育へ  
つなげる



幼児教育と  
つながる





# 3-5. 幼児教育と小学校教育をつなぐ



## ■ 幼保小接続のカギ：具体的な子どもの姿

### 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」

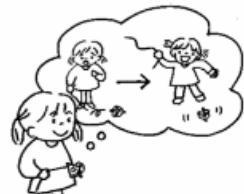
※それぞれの姿の概要のみを記載

#### 【健康な心と体】



自ら見通しをもって思い切り体を動かし、心身の充実を図る

#### 【自立心】



自分の力で行うために、考えたり、工夫したりしながら諦めずにやり遂げて、自信をもつ

#### 【協同性】



互いの考えを共有し、共通の目的に向け、工夫したり協力したりして実践していく

#### 【道徳性・規範意識の芽生え】



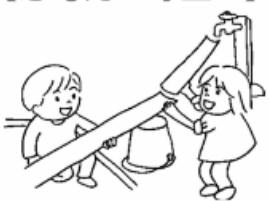
物事のよい悪いが分かり、決まりを守るために互いに折り合いを付ける

#### 【社会生活との関わり】



家族や地域の人と関わり、情報を役立てながら活動したり、社会とのつながりを意識したりする

#### 【思考力の芽生え】



物の性質や仕組みについて考えたり、友達の考えにふれたりして、よりよい考えを生み出す

#### 【自然との関わり・生命尊重】



自然や身近な動植物にふれ、愛情を抱いたり、接し方や特徴に気付いたりする

#### 【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】



遊びや生活中で数量や图形、標識や文字に親しみ、興味や関心、感覚をもつ

#### 【言葉による伝え合い】



絵本などに親しみ、経験や考えを言葉で伝えたり、話を聞いたりして、伝え合いを楽しむ

#### 【豊かな感性と表現】



心を動かす出来事にふれ、感じたことを表現し、その喜びを味わう

### 「10の姿」についての考え方

★到達目標ではなく、方向目標であること

★1項目ずつ取り出して指導したり、評価したりするものではないこと

★すべての子どもに同じようにみられるものではないこと

★それぞれの時期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより、見られる姿であること

「10の姿」を念頭に置いて、一人ひとりの発達に必要な体験が得られるような状況を作ったり、必要な援助を行ったりすることが大切です

## 3-6. 幼児教育と小学校教育をつなぐ



### 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

#### 自立心



自分で考えたり、工夫したりする活動を大切にします。

自分の力で最後までやり遂げ、満足感や達成感を味わいながら、自信をもって行動するようになっていきます。

このクレヨンで  
こう塗るといいかな…



身近な環境に主  
体的に関わり  
様々な活動を樂  
しむ中で、  
しなければなら  
ないことを自覚  
し、  
自分の力で行う  
ために考えたり、  
工夫したりしな  
がら、  
諦めずにやり遂  
げることで達成  
感を味わい、自  
信をもって行動  
するようになる。

# 3-7. 幼児教育と小学校教育をつなぐ



## 滋賀県版「かけ橋期カリキュラムシート」



### 「共通シート」

三つの視点を園と小学校が協働で策定

①期待する子供像

②期待する子供像に関連がある

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

③期待する子供像に迫るために大切にしたいこと

### 共通シート

滋賀県版「かけ橋期カリキュラム」共通シート（案）

【 小学校区】校園名（ ）

時期	5歳児				第1学年			
	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	4・5・6・7	8・9・10・11・12
期待する 子ども像								
てり 幼児期 してい に育つわ と大 にし いたい こ と う き	環境 单元 の先生 ドワ ー キ							

園と小が協働で策定

A  
**Anticipation**  
見通しをもつ

A  
**Anticipation**  
次の期の見通しをもつ

R  
**Reconstruction**  
実践の振り返りを踏まえた  
デザインの見直し・再構成

### 「実践記録」

園と小学校が共通の視点を理解したうえで、実践し、子供の学びの姿を描き出す。



### 実践記録

#### 子どもの学びの姿を描き出す

【実践記録】

子どもたちが「かけ橋期カリキュラム」で描き出された「子どもの学びの姿」を、実践記録として記録する。この記録は、園と小学校が協働で実践する過程で、子供たちの成長や変化を捉えるための重要な資料となる。

【子どもの学びの姿】

この欄では、園と小学校が協働で実践する過程で、子供たちがどのように成長していくかを記録する。具体的には、子供たちが「かけ橋期カリキュラム」で示された「子どもの学びの姿」を実現していく様子や、その過程での変化などを記述する。

【Action やってみる】

この欄では、園と小学校が協働で実践する過程で、子供たちがどのように成長していくかを記録する。具体的には、子供たちが「かけ橋期カリキュラム」で示された「子どもの学びの姿」を実現していく様子や、その過程での変化などを記述する。

【Reflection ふりかえる】

この欄では、园と小学校が協働で実践する過程で、子供たちがどのように成長していくかを記録する。具体的には、子供たちが「かけ橋期カリキュラム」で示された「子どもの学びの姿」を実現していく様子や、その過程での変化などを記述する。

主な教育課程・予想される活動

A  
**Anticipation**  
見通しをもつ

A  
**Anticipation**  
次の期の見通しをもつ

R  
**Reconstruction**  
実践の振り返りを踏まえた  
デザインの見直し・再構成

【実践記録】

【子どもの学びの姿】

【Action やってみる】

【Reflection ふりかえる】

【実践記録】

【子どもの学びの姿】

【Action やってみる】

【Reflection ふりかえる】

振り返り



## 3-8. 幼児教育と小学校教育をつなぐ

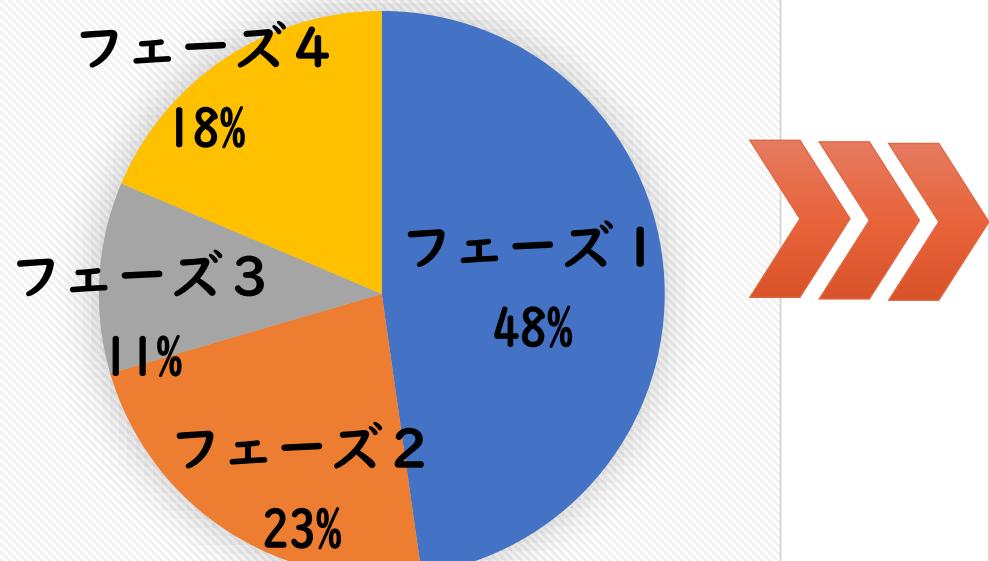


### ■ 県内の幼保小接続に関する現状

フェーズ	質問	R5	R6
フェーズ1	幼保小の接続の観点から、教育課程編成・指導計画作成を行っている	100%	100%
フェーズ2	園と合同で、「架け橋期カリキュラム」を検討・開発している	52%	58%↑
フェーズ3	園と検討・開発した「架け橋期カリキュラム」を実施し、検証を行っている	29%	31%↑
フェーズ4	作成した「架け橋期カリキュラム」について、園と毎年見直しを行っている	18%	18%

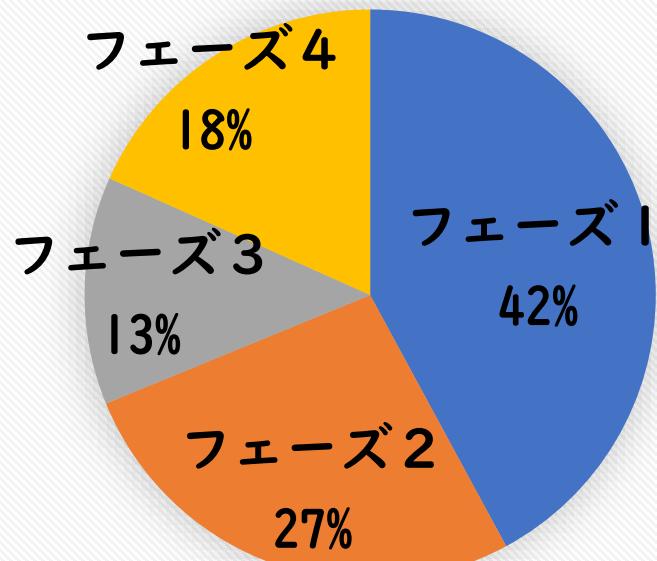
#### 【令和5年度】

「令和5年度学びのアンケート」より



#### 【令和6年度】

「令和6年度学びのアンケート」より



# 3-9. 幼児教育と小学校教育をつなぐ



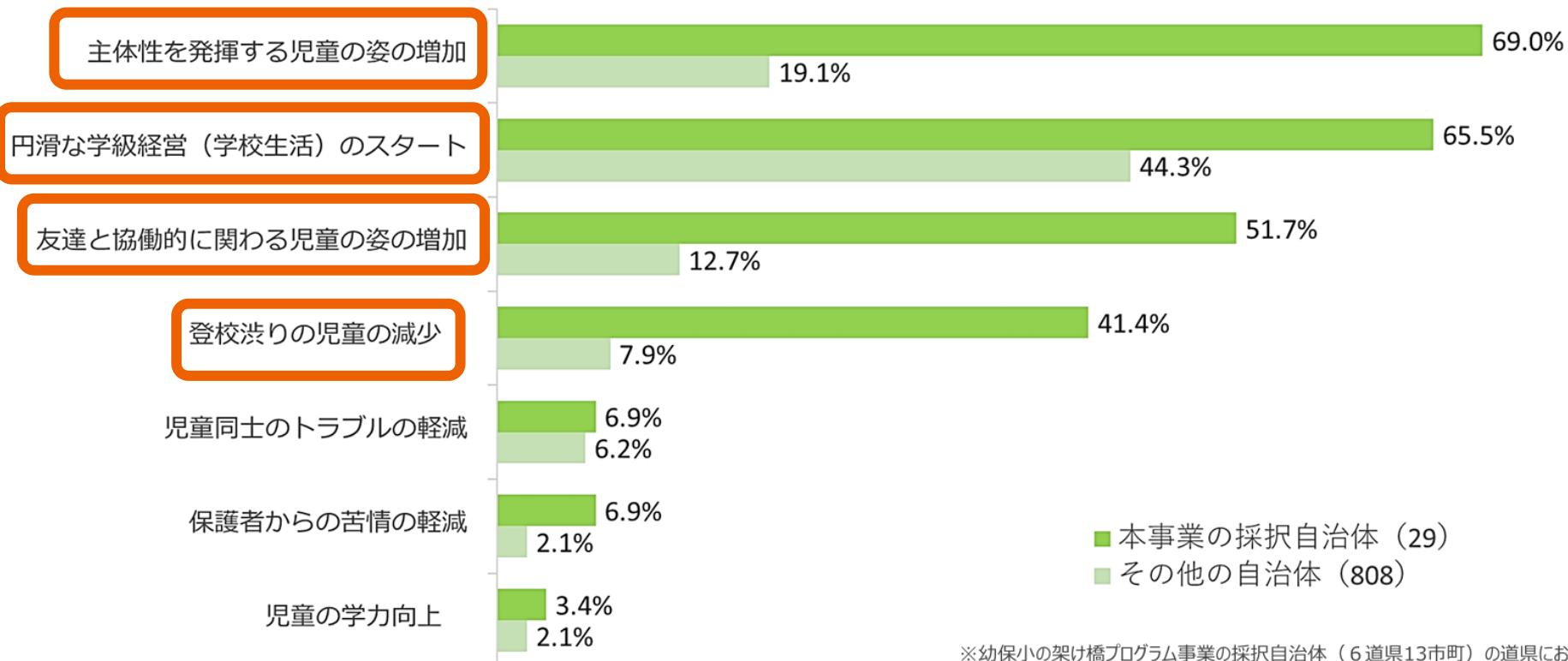
## ■ 幼保小接続による成果

### 幼保小の架け橋プログラムの成果

(幼保小の架け橋プログラム事業におけるアンケート調査結果より)

Q. 幼保小の接続に取り組んでいる中で、改善された小学校（学級）の課題があれば、当てはまるものを選択してください。  
(当てはまるものを全て選択)

【改善された小学校の課題（令和5年度）】



※幼保小の架け橋プログラム事業の採択自治体（6道県13市町）の道県においては、道県の回答及び連携市町からの回答を「採択自治体」として集計している。

出典：「令和7年度幼児教育担当主事会」文部科学省 幼児教育課 資料

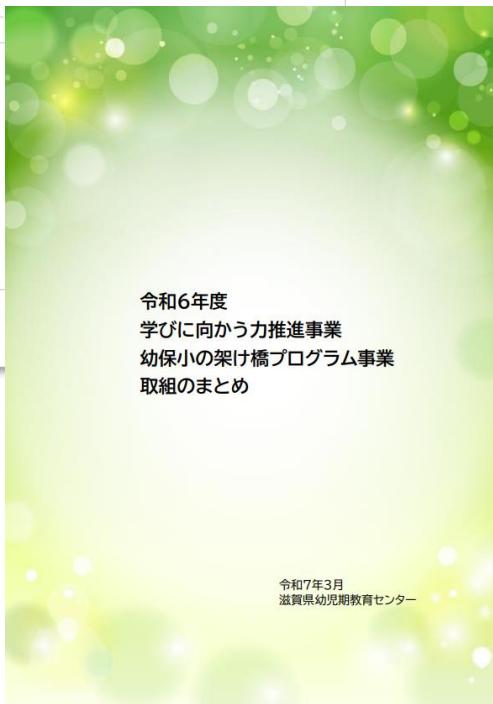
# 参考 資料



本日紹介した資料やデータは、滋賀県ホームページからダウンロードできます。



滋賀県版「架け橋期カリキュラム」共通シート（案）						【 小学校区】校園名（ ）		
时期	5歳児			第1学年				
	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3		
期にする 子どもの像	いま児 としての 像をあわ せよう							
と大 切 にわの先								



令和6年度

学びに向かう力推進事業  
幼保小の架け橋プログラム事業  
取組のまとめ



幼保小接続に  
関する県事業  
「学びに向かう  
力推進事業」の  
取組について、  
まとめています。

ご清聴ありがとうございました

